



作品評

この作品は、農業公園の管理運営を主体とする民間事業者に対し、公園管理運営のボトムアップを目指し、経営資源の活用策や人材育成などを行っているものである。当該企業は、農業・加工・サービス（1次・2次・3次）の6次産業に取組むモデルとして、全国10カ所の農業公園の運営を行っているが、応募者がコンサルティングすることにより、目標設定を踏まえた実行計画の作成、人材育成の目標としての資格取得、現場本位の植栽管理計画の実践、CSR活動の推奨などを行っている。
 このような民設公園、民間企業へのコンサルティングは先駆的取組みと評価でき、今後の新たな方向性も示唆するものと考えられる。

民間事業者が経営する農業公園のサービス向上作戦（公園管理運営の改善計画）

株式会社東京ランドスケープ研究所

小林 新・小林治人・羽田泰章・高橋佳祐・上田早織

株式会社ファーム 高橋憲司・渡邊秀昭・南山 勉・浅沼正彦

株式会社ファームは、昭和61年から自社所有の農業公園と指定管理や委託業務の公園を含め、全国に10カ所の公園とサービスエリアの管理運営を行っている企業です。

公園運営を約25年行っている中で、いつしか、「昨日まで続けてきた仕事を、単に今日も明日も続けているのでは」「地域との連携とは、公園が担う責任とはなにか」を考え、東日本大震災をきっかけに「公園の防災に対する使命は」、今公園は何をすべきか、将来の公園のあるべき姿は何かを考える活動を東京ランドスケープ研究所（TLA）と連携し行っています。

その内容は、①公園実務者における公園のマネジメント講習、②新たな植栽管理指針の策定と剪定技術の伝承指導、③公園管理運営士の資格取得を兼ねた講座

とワークショップの活動の実施、などです。また、「東日本に花を咲かせ隊」と連携したCSR活動等に関してもコンサルティングしています。

作品概要

作品名：民間事業者が経営する農業公園のサービス向上作戦（公園管理運営の改善計画）

依頼者：株式会社ファーム

対象地：江戸崎農業公園ポティロンの森、信州塩尻農業公園チロルの森、衣川悠久ファームとうほくニュージールランド村等

コンサルタント：株式会社東京ランドスケープ研究所
 業務目的：本業務は、主に次の3点を実現するためのコンサルティングを行うことを目的としている。

- ①企業ブランド理念「人と自然のふれあいを通して笑顔をお届けしたい」の現場での具体化
- ②現場職員の植栽管理技術の向上
- ③CSR活動の展開

業務期間：2012年6月～現在も継続中

衣川悠久ファーム
 とうほくニュージールランド村



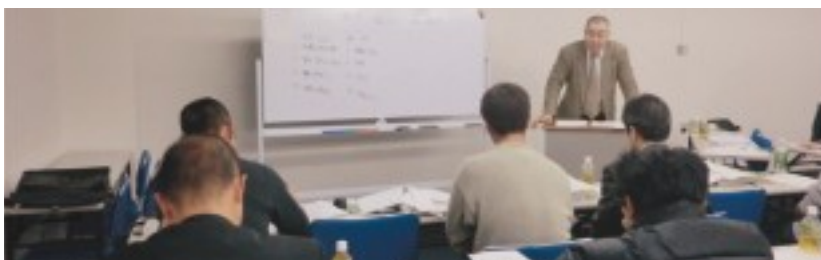
信州塩尻農業公園
 チロルの森



江戸崎農業公園
 ポティロンの森



対象地位置図



公園管理運営士資格取得講座の様子



幹部の勉強会



ファーム幹部との深夜ミーティング



ポティロンの森でのワークショップ



衣里幼稚園の園児たちと球根植え作業



チロルの森での現場指導—日本酒により回復した黒松